

市議会 だより

おもな内容

CONTENTS

- | | |
|-------------------|--------|
| ● 決算概要 | 2 ページ |
| ● 議案の審議結果 | 5 ページ |
| ● 一般質問 | 6 ページ |
| ● 傍聴席 / 11月定例会の予定 | 12 ページ |



「第10回記念市民スポーツ交流フェスティバル」で地区対抗戦の綱引きを行う参加者たち(さんりーな)

平成25年度決算

限られた財源の効率活用

■一般会計

歳入決算額	467億4,138万円
歳出決算額	448億7,401万円
歳入歳出決算額	18億6,737万円
実質収支額	16億 257万円

■特別会計

歳入決算額	267億3,263万円
歳出決算額	256億6,204万円
歳入歳出決算額	10億7,059万円
実質収支額	7億6,824万円

※特別会計は国民健康保険、介護保険、下水道事業など14特別会計の合計決算を表す。

■水道事業会計

収益的収支	歳入決算額	28億 102万円
	歳出決算額	28億1,704万円
	歳入歳出決算額	△1,602万円

収益的収支：1年間の事業活動に関する水道料金や、材料費、電気料金、職員の給与などの支出。

【財政状況指数】

区分	金額・指数	前年対比
財政力指数(単年度)	0.911	+0.004
経常収支比率	82.8	-1.9
実質公債費比率	11.0	-0.8
将来負担比率	102.7	-20.8
地方債現在高	481.2億円	+13.2億円

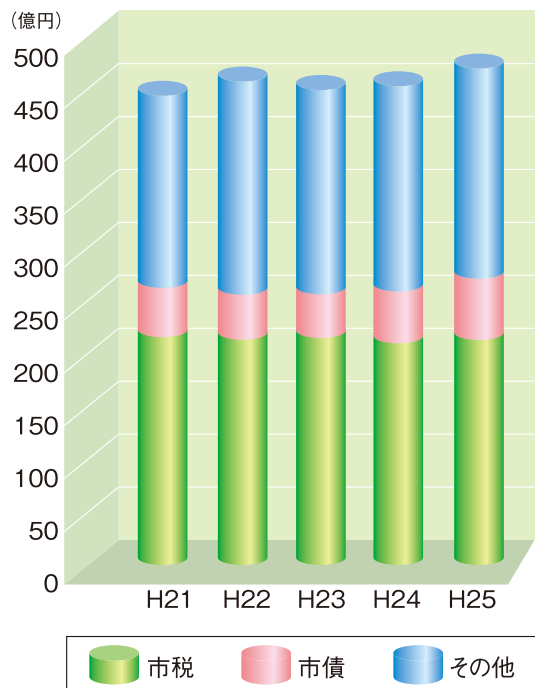
市の財政状況を示す指数は、前年度と比較し、やや改善傾向となっておりますが依然として楽観できる状況ではありません。実質公債費比率は前年度比0.8ポイント減少しましたが、県内ワースト9位、将来負担比率は20.8ポイント減少しましたが、県内ワースト2位でした。

市税収入回復は足踏み状況

歳入では、景気回復やたばこ税の税率改正により、市税収入は前年度比1.9%増の207.6億円となりました。また、国庫支出金51.9億円、県支出金28.5億円及び合併特例債など市債の発行57.8億円などにより必要額を確保し、歳入全体では対前年比4.1%増の467.4億となりました。景気は回復基調にありますが依然として厳しい状況にあります。

歳出では、子育て支援として学童保育や保育園の充実強化、地域福祉の拠点となる西部ふくしあの開業、企業立地の促進、津波対策基金の創設、合併推進道路整備など事業の重点化を図るとともに行政運営の効率化を進めました。

■一般会計決算(歳入)の推移



決算特別委員会委員長報告 施策評価、そして将来へ

平成25年度決算議案は、一般会計と特別会計・企業会計の2つの特別委員会を設置し、審査を行いました。

一般及び特別・企業会計は、9月25日、26日の2日間に開催され、審査の結果、いずれも原案のとおり認定すべきものと決しました。また、10月6日の本会議において、両特別委員会の審査経過及び審査結果が委員長より報告されました。

一般会計決算特別委員長報告(抜粋)

この委員会で交わされた主な質疑は次のとおりです。

- Q** 天竜浜名湖鉄道の利用率が向上していない。利用率向上対策としてどのような対策を考えているのか。
- A** 関係6市町のマスコットキャラクターをラッピングした列車の運行を行ったり、つま恋、掛川城、加茂花菖蒲園との連携について天竜浜名湖鉄道および関係5市町と一緒に検討している。
- Q** 光ファイバー網整備後の活用については、どのように考えられているのか。
- A** 今年の3月にNTT西日本と協定を締結した。その中で、パソコンなどに馴染みがない方でも、自宅のテレビがインターネットに繋がることで、市政情報や緊急情報をいち早く受信できるような仕組みを考えている。
- Q** 不妊治療助成については男性にも関係するが、助成の対象は女性だけなのか。
- A** 対象となる治療は、特定不妊治療と今年から始めた人工授精治療であり、女性が対象となっている。しかし男性も不妊症の要因としてあるため、助成している自治体を参考に研究していく。
- Q** スマートインターチェンジ設置検討調査はどのような結果になっているのか。
- A** インターを設置した場合の効果と概略設計を実施した。費用便益比は1以上で費用対効果があるという基準となるが、東名小笠パーキングエリアの費用便益比は0.923であり、実現には厳しいものがある。

特別会計・企業会計決算特別委員長報告(抜粋)

この委員会で交わされた主な質疑は次のとおりです。

- ◎国民健康保険特別会計**
- Q** 国保会計は多くの市民が関係する。一般会計からの繰入額を増やすことは出来ないのか。
- A** 基金積立金や一般会計からの繰り入れは県下で一番である。増額は国保以外の方の税金を使うことになるので難しい。
- ◎介護保険特別会計**
- Q** 高齢者対象の一次予防事業、二次予防事業のPRを積極的に行う必要があるのではないのか。
- A** シニアクラブや地区福祉協議会などの協力を得てPRすると同時に、地域のリーダー育成に力を入れるなど普及に努めていきたい。
- ◎公共下水道事業特別会計**
- Q** 公共下水の接続率が上がっていない大きな要因は何か。また、接続率を上げる対策は。
- A** 3処理区の中で大須賀地区が65%程度と低いが、町屋形式のお宅が多いことなどが要因である。訪問活動を継続し接続率向上に努めたい。
- ◎水道事業会計決算特別会計**
- Q** 水道事業には、企業団の見直しや管路の耐震化、人口減少問題などの課題がある。今後のあり方は。
- A** 企業団には人口減少なども考慮した更新基本計画を要請したい。また、管路や施設は第2次総合計画との整合性を図りながら精査している。

始まる「掛川モデル」試験施工

平成26年度9月 一般会計補正予算の 概要と特徴

1 補正規模	3億9,707万円
2 補正後の予算額	451億7,051万円

(1) 始まる津波対策、防災林強化「掛川モデル」の試験施工

海岸防災林強化事業費 6,000万円増額

県中遠農林事務所などと連携し、大須賀沖之須地区に津波対策事業として海岸防災林の強化事業の試験施工を実施します。

(2) 新名所に、ステンドグラス美術館の周辺整備事業

ステンドグラス美術館開館準備費 2,550万円増額

来春の開館に向けて園路広場や入園門整備工事、事務所などの備品購入やポスター、チラシの印刷費用を追加します。

(3) 当初予算を上回る応募で子育て支援を増額応援

三世代同居支援事業費補助金 700万円増額

子どもを生み育てる環境づくりと地域経済の活性化を図るため、住宅の新築、増築費用の一部を買物券で交付する補助事業です。

(4) 国の予防接種法の改正で更なる健康医療を

予防接種費 5,552万円増額

本年10月から水痘ワクチン、高齢者肺炎球菌ワクチンが定期接種になるために予防接種委託料を追加します。

(5) 市民の安全安心のために

道路橋梁安全点検事業費 1,142万円増額

道路照明灯、横断歩道橋、トンネル、道路標識、道路法面などの安全点検について点検委託料を追加します。

(6) 人口減少問題に本格的に対応

総合計画基本構想策定支援委託料 270万円追加

人口減少問題に迅速に対応するため、策定中の第2次掛川市総合計画にデータの整理や分析などを行うため委託料を追加します。

■歳入

前年度繰越金	14億5,857万円
地方交付税	2億3,489万円
地方特例交付金	336万円
寄附金	100万円
繰入金	△12億5,000万円
市債	△1億2,600万円
特定財源	7,518万円

■歳出

緑の精神回廊事業費	1,740万円
ごみ指定袋製造業務委託料	2,010万円
掛川茶消費拡大事業費	145万円
オープンデータ調査研究事業委託料	350万円
将棋王将戦掛川対局開催委託料	100万円
法人市民税等還付金	1億2,280万円
長期債償還利子	△1億4,928万円

9月定例会における議案の審議結果一覧

	議 案 名	議 決 内 容
予 算	平成26年度掛川市一般会計補正予算(第3号)について	賛成多数可決
	平成26年度掛川市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について	全会一致可決
	平成26年度掛川市後期高齢者医療保険特別会計補正予算(第1号)について	全会一致可決
	平成26年度掛川市介護保険特別会計補正予算(第1号)について	全会一致可決
	平成26年度掛川市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)について	全会一致可決
条 例	掛川市住民投票条例の一部改正について	全会一致可決
	掛川市総合計画審議会条例の一部改正について	全会一致可決
	掛川市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正について	賛成多数可決
	掛川市営住宅管理条例の一部改正について	全会一致可決
	掛川市美感ホール条例の一部改正について	全会一致可決
	掛川市火災予防条例の一部改正について	全会一致可決
	掛川市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部改正について	全会一致可決
一 般	掛川市道路線の認定について	全会一致可決
	掛川市道路線の変更について	全会一致可決
決 算	平成25年度掛川市一般会計歳入歳出決算の認定について	賛成多数認定
	平成25年度掛川市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	賛成多数認定
	平成25年度掛川市後期高齢者医療保険特別会計歳入歳出決算の認定について	賛成多数認定
	平成25年度掛川市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	賛成多数認定
	平成25年度掛川市公共用地取得特別会計歳入歳出決算の認定について	賛成多数認定
	平成25年度掛川駅周辺施設管理特別会計歳入歳出決算の認定について	賛成多数認定
	平成25年度掛川市簡易水道特別会計歳入歳出決算の認定について	全会一致認定
	平成25年度掛川市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	賛成多数認定
	平成25年度掛川市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	賛成多数認定
	平成25年度掛川市浄化槽市町村設置推進事業特別会計歳入歳出決算の認定について	賛成多数認定
	平成25年度上西郷財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	全会一致認定
	平成25年度桜木財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	全会一致認定
	平成25年度東山財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	全会一致認定
	平成25年度佐束財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	全会一致認定
平成25年度掛川市病院事業清算特別会計歳入歳出決算の認定について	賛成多数認定	
平成25年度掛川市水道事業会計決算の認定について	賛成多数認定	
報 告	健全化判断比率の報告について	受 理
	掛川市簡易水道特別会計資金不足比率の報告について	受 理
	掛川市公共下水道事業特別会計資金不足比率の報告について	受 理
	掛川市農業集落排水事業特別会計資金不足比率の報告について	受 理
	掛川市浄化槽市町村設置推進事業特別会計資金不足比率の報告について	受 理
	掛川市水道事業会計資金不足比率の報告について	受 理
意見書	農協改革に関する意見書	全会一致可決
	地震財特法の延長に関する意見書	全会一致可決
請 願	「農協・農業委員会等に関する改革」に関する意見書提出を求める請願書	全会一致採択
	行政書士法違反書類の掛川市各機関への提出排除に関する請願書	賛成多数採択



市長の選挙公約である 農林業のこれからの施策は



創造みらい
荒原 通泰

Q 農業経営が厳しさを増す中、市の農業施策の柱とその具体策は。また、林業の木材消費の拡大策を研究・検討する考えを伺う。

たくましく強い農業づくりと木材消費の拡大

A 農業は「人・農地プラン」に基づき、担い手農家への農地の集積を平成三十五年までに六五パーセントになるよう進めるほか、企業の経営感覚をもった担い手の確保育成に取り組む。

木材の消費拡大施策は県森林組合連合会と静岡県が主導する形で、流域毎に関係の市町や森林組合などで協議会を設けて調査研究する。

児童の健全育成を目的にした小学校運動場の芝生化は

Q 児童生徒の心身ともに健全な育成は親としても市民としても願っている。そこで小学校運動場を芝生化する考えを伺う。



芝生化された小学校の運動場(岐阜県瑞浪市)

芝生化の効果は素晴らしいが学校運営などの調整が必要

A 学校を温かみと潤いのある教育環境に整備していくことは大変重要である。芝生化はケガも少なく元気に遊ぶことや「いこいの場」として心身豊かな成長に結びつき、環境保全や環境教育にも有効であるが、運動場の多目的な利用、芝生の養生期間、導入費用及び管理の労力や経費の課題があるため、研究していく。

各家庭における地震対策は



創世会
大石 勇

Q 住宅の耐震補強が困難な場合、耐震シェルターや防災ベッドによる安全確保も有効である。これを普及促進するため現状の補助制度の要件を緩和し充実する考えがないか伺う。

自宅の耐震化など、自分の命は自分で守る自助を推進

A 地震・津波対策アクションプログラムに基づき、市行政などが協働で減災を目指している。

補助制度は、まず高齢者世帯を対象とするが、耐震シェルターの補助はスタートしたばかりであるので、普及状況や意見を踏まえ充実に図る。

上水道基幹管路の耐震化は

Q 想定される大地震に備えた上水道基幹管路の耐震化は、被害を最小限にとどめるために重要である。どのように取り組んでいるか伺う。

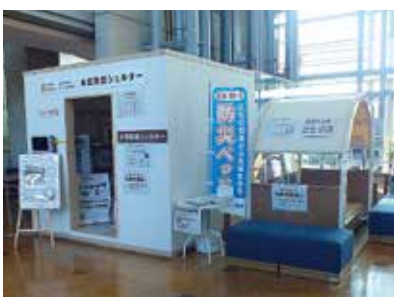
地震・津波対策アクションプログラムに基づき国庫補助事業により実施

A 整備方針は基幹管路の設置年度が古い老朽管路を優先に進めており、平成二十五年度末の達成率は四〇パーセントである。

技術的な面として、新たな耐震管の技術育成を市内水道組合と連携し、工事施工技術講習会を開催し対応している。また、優良工事の表彰も更なる技術向上につながると思っている。

【他の質問事項】

・新エネルギー機器の確保と地域協働経済支援買物券交付事業について



住宅内に2日間で設置可能な木質耐震シェルター



ふるさと納税制度のさらなる活用は



公明党かけがわ 山本行男

Q 故郷を大切に思い、多くのの方が、この制度を利用して地元を応援している。本市もこの制度にもっと力を入れて自主財源の確保に努めるべきと思いがいがかが。

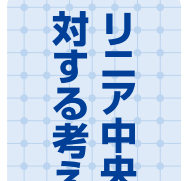
特産品の贈呈だけでなく、掛川に行きたい気持ちになる仕掛けも検討

A 他市町村の状況を見ると地元特産品を贈ることが農林水産業や商工業などの産業振興に寄与している面もあるため、今後、寄附金額に応じた特産品を贈ることなどについて検討する。



ふるさと納税も活かされたリニューアル木造駅舎

新幹線静岡空港新駅構想の認識は



共産党掛川市議団 鷺山喜久

Q 県議会九月定例議会に補正予算で、調査費として数百万円が計上されていた。JR東海静岡支社は「掛川駅との距離が近く新駅を作る考えは全くない」と回答している。この構想をどのように認識しているか伺う。

A 新幹線ホームから空港ロビーへの直接アクセスなど利便性向上に効果があり、空港利用率の向上に繋がるものと思っている。また空港新駅が出来れば、その効果が十分掛川市に反映されるものでなければならぬと考えている。

利便性向上に効果はあるが、その実現には高いハードル

Q JR東海が工事実施計画認可を申請した。六兆円もの巨費を投じて二〇二七年開業を目指し最優先させている。本事業実施に伴う環境影響は計り知れない。多くの地下水脈を寸断し、大井川の水量を毎秒二トンも減量させ、枯渇を招き生態系を乱す。また東海道新幹線の三倍の電力消費、電磁波の影響、トンネル工事の膨大な残土処理など問題が山積している。市長の考えを伺う。

リニア中央新幹線認可に対する考えは



共産党掛川市議団 鷺山喜久

Q JR東海が工事実施計画認可を申請した。六兆円もの巨費を投じて二〇二七年開業を目指し最優先させている。本事業実施に伴う環境影響は計り知れない。多くの地下水脈を寸断し、大井川の水量を毎秒二トンも減量させ、枯渇を招き生態系を乱す。また東海道新幹線の三倍の電力消費、電磁波の影響、トンネル工事の膨大な残土処理など問題が山積している。市長の考えを伺う。

A 大井川上流部の河川流量毎秒二トンの減少予測は、掛川市にとって市民生活に関わる重大なことから捉えている。JR東海は各種対策や代替水源確保などを実施する計画であるが、トンネル工事の影響に対する環境監視体制は十分なものはなっていない。

また要請や意見を提出したが、具体的な回答がないまま工事実施計画認可を国土交通大臣に申請し、準備が整い次第、工事に着手するとの報道があった。

地元が納得する回答がないままでは、全く受け入れられないものではないと考えている。



開業から50年を迎えた東海道新幹線

【他の質問事項】
 ・健康の維持、医療費削減について
 ・地域医療介護総合確保推進法における国民の権利について



掛川市の 障がい者雇用の推進は



Q 昨年設立した「障がい者新規就労500人サポート事業」の推進委員会、専門部会の活動進捗状況について伺う。

市と共に協働の精神で支援し合う取り組みが必要

A 就労を実現するため、推進協議会を二回、専門部会を二回開催し、障がい者雇用の課題の洗い出しを行った。

また障がい者就労の状況などのアンケートを実施し、就労実態を調査した。これらの結果を踏まえ、課題解決の方向性と具体的な施策について協議している。



Q 障がい者雇用後のサポート体制は

毎年増加する障がい者雇用後の離職率と再就職のサポートについて、どう対応するのか伺う。

A 東遠地域自立支援協議会
部会で雇用後をサポート

東遠地域自立支援協議会での就労に関する課題検討、袋井特別支援学校での卒業後二年間のアフターサポート、障害者就業生活支援センターでの訓練など、就労や日常・社会生活の支援を行っている。

また障がい者新規就労500人サポート事業では、適切な再就労先を探すための取り組みを市内外の就労関係機関と連携して進めている。

合併評価と 今後の市政経営方針は



Q 住民サービスの高度化や重点的な投資などを目指し合併が行われた。十年を経過し現時点の評価と、この評価を踏まえた今後の市政経営の方針を伺う。

A 新たな地域づくりに取り組み理想の掛川市を具現化

行財政の効率化、質の高い市民サービスの提供、新たに発生した行政ニーズへの対応などに重点的に取り組んだ。今後は第二次総合計画の策定に取り組み、計画の骨組みとして定住人口と交流人口の拡大、協働と行財政改革、広域連携では産学官の協働により、経営感覚を重視して取り組んでいきたい。

Q 地域活性化など地域課題解決に向け、大学COCC機能強化事業が実施されている。掛川市でも人口減少問題など多くの課題を抱えている。

高等教育機関との連携は

この活用が必要と考えるが所見を伺う。

A 教育・研究などを進める大学を財政支援するCOCC事業を積極的に活用

自治体が大学の取り組みとどうまく連携する中で、地域の再生や活性化に役立つ事業と認識している。今後、先進事例を踏まえ、研究をしていくとともに、大学との連携を今まで以上に深め、各種まちづくり事業に取り組んでいく。

【他の質問事項】
人口リミットが偏在しているまちづくりについて



今後、合併の評価を踏まえ計画される新総合計画

※大学COCCとは、大学を地域コミュニティの中心にして、街づくりなどを実現する考え方。



買物券による 地域経済への効果は

Q 地域協働経済支援買物券交付事業は平成二十五年より実施された。住宅リフォーム支援事業における地域経済への波及効果を伺う。

A 平成二十五年の住宅リフォーム支援事業における対象工事総額は約二億五千五百万円であり、さらに経済への波及効果は各種資機材の調達や運搬、その他のサービスの調達需要額の発生を含め、およそ四億九千四百万円と試算している。

自然災害から子どもたちを守る 万全な防災避難計画の 推進は

Q 東日本大震災の教訓を生かし、自分の命を守る「姿勢」を身につけさせるための防災教育をどう進めるのかを伺う。

A 「想定にとらわれない」で、保幼小中合同訓練やてんでんこに避難する訓練を実施している園や学校がある。「自分で判断する力」を養う訓練として、幼稚園では逃げる体力づくり、アクティブチャイルドプログラムを研究している。



共産党掛川市議団
渡邊久次



津波災害に対する警戒と防災意識を高める海拔表示板

掛川市子ども子育て 支援新制度への対応は

Q ニーズ調査では二歳児以下の保育に対する供給量が不足する見込みだが保育をがんばる家庭に対してもさらなる支援が必要だとされる。どのようなことが考えられるか。

A 新規事業として「子育てコンシェルジュ事業」や「ゆつたり子育て三世代同居応援事業」を実施し、家庭での保育の支援と子育て力の向上を図っている。今後はITツールを活用し、タイムリーな情報提供を行うことで、子育て世帯を支援するほか、紙おむつの支給など総合的支援を検討したい。



創世会
大場雄三

和岡古墳群整備計画の進捗状況と今後の活用は

Q 国指定の史跡であるが、文化財としてだけでなく、観光の拠点、又は、ウォーキングコースとして設定し、健康づくりの拠点などとして幅広い活用は考えられるか。

A 歴史にふれる「学習の場」として出前文化財講座や古墳めぐりなど総合的学習の時間を活用して、子どもたちに興味をもってもらいたい。また健康づくりや観光の拠点など、さまざまな形に応用できると考えている。市外からも多くの人に訪れてもらいたい。



来年度以降、基本設計に着手する吉岡大塚古墳



掛川茶の情報発信は

Q いこいの広場プール跡地に、健康医療日本一を支えるお茶をテーマにした

(仮称)お茶博物館を建設し、歴史、世界農業遺産の茶草場など、お茶で夢を広げる拠点にしたいと思うが見解を伺う。

ミラノ国際博覧会への出展や世界農業遺産を広く情報発信

A 掛川茶の品質の高さ、健康効能を情報発信し消費拡大に力を注ぐことは必要である。

しかし、お茶博物館はすでに近隣に立派な施設が整備されているため、建築経費などと宣伝効果の費用対効果について慎重に検討する必要がある。

高齢者の肉体労働軽減のために、今やれることは

Q 進む高齢社会対策の一つに重労働の軽減がある。大変な作業である堤防、道路、農地境法面の草刈り対策のために、イワダレソウの



創世会 野口安男

活用はどうかと思うが見解を伺う。

多面的機能支払交付金により農村環境保全活動を推進

A 管理が楽で雑草の抑制や法面の崩壊が減少し、花が咲き景観の良さなどがあるが、大変繁殖力が強く、他の植物への影響力が大きく、適切な植栽場所を選ぶことも必要である。各協議会に対して景観に配慮した地域づくりを進めるため、農道などの法面の植栽に「イワダレソウ」などのカバープランツの活用を提案していく。



雑草が生えにくい「イワダレソウ」の水路法面(浜松市内)

どうして浸透されない協働のまちづくり

Q 昨年度、「協働元年」としてさまざまな推進活動を展開したが、市民への浸透は今ひとつである。その要因は何か。今後への対応も含めて伺う。

説明会などの対話集会参加者が地域の自治会役員中心

A 対話集会の内容が、まだ一般市民まで浸透していない現状だと受けとめている。

今後は地区まちづくり協議会の取り組みが進められ、市民が直接参加し地域内での話し合いが増える中で、協働のまちづくりに対する理解や浸透が進んでいくと考えている。

学童保育所未開設の日坂小保護者の声に応える開設は

Q 六年前から学童利用を希望する児童は東山口の学童で受け入れた。保護者の送迎が必要で、その負担は大さい。今、日坂小児童の開設を要望する保護者の声があり地区の理解と支援も期

待できる。開設に向け市の考えを伺う。

開設基準が満たされるよう、地元との連携を推進

A 日坂小学校区に学童保育所を立ち上げたいという意見が出ており、今年度に入って、区役員、保護者の方などと話し合いを進めてきた。

今後も十人以上の利用ニーズがあるかどうかを把握した上で、開設場所や運営主体、指導員の確保など、開設基準が満たされるよう、地元と連携をとっていく。



学校余裕教室を利用する東山口学童クラブ



無党派の会 窪野愛子



地方教育行政制度の改革が行われ、責任の明確化や首長との連携強化などが図られる学校

**市長が小中高生に直接
語ることの必要性は**



創世会
草賀 章吉

Q 小中高生に対し、市長が市政やまちづくりについて直接教えることは、市政への適切な理解や郷土愛を育むためにも必要と思うが見解を伺う。

**学校の現場で市政語れず
実現を検討**

A 郷土愛の醸成や協働のまちづくりの推進のためにも、市政に携わる首長が、子どもたちに直接、行政全般について話をするは大変意義深いことと考えているので、実現のため検討する。

Q 地区まちづくり協議会のモデル地区に求める検証テーマは

A 地区まちづくり協議会のモデル地区に南郷・西山口・大淵地区が指定された。三地区に対して検証するテーマや課題はどのような内容か伺う。

モデル地区で取り組み、検証する内容は四つ

A 一つ目は実際の地区まちづくり協議会の設立に向けた問題点を整理、二つ目は地区まちづくり計画の策定、三つ目は既存事業の見直しや地域課題の解決策などを検討し、まちづくり計画のまとめ、四つ目は地域内分権に向けた研究である。

【他の質問事項】

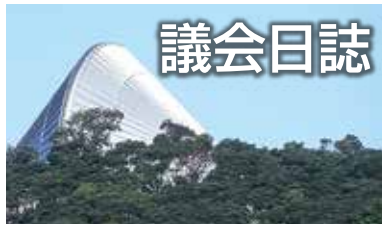
・地域医療のあるべき姿について

議会報告会が始まりました **聞こう語ろう
まちのこと**
**人口減少社会に
掛川市はどう対応すべきか**

- 1 人口減少社会の基本認識
- 2 超高齢社会への挑戦
- 3 進む少子化への対策

開催日	地域	会場
10月 28日(火)	原野谷中学校区	原田地域生涯学習センター
10月 29日(水)	大浜中学校区	大東支所3階市民交流センター
	城東中学校区	大東北公民館
10月 31日(金)	北中学校区	初馬会館
11月 4日(火)	栄川中学校区	栄川中学校多目的ホール
11月 6日(木)	東中学校区	南郷地域生涯学習センター
	西中学校区	市役所4階会議室
11月 7日(金)	大須賀中学校区	大須賀支所2階市民交流センター
11月 8日(土)	桜が丘中学校区	和田岡地域生涯学習センター

※開催時間は、
全会場、午後7時～
9時の予定です。



議会日誌

[7月]

- 9日～11日
 - 文教厚生委員会行政視察
(新潟県妙高市、富山県富山市)
- 16日 ○第3回中東遠総合医療センター支援特別委員会
- 22日 ○全員協議会
 - 環境産業委員会
 - 第3回協働のまちづくり推進特別委員会
- 24日～25日
 - 議員東京研修
- 29日 ○東遠議員交流フォーラム
- 31日 ○静岡県市町議会議員研修会

[8月]

- 1日 ○環境産業委員会協議会
- 4日 ○第2回議会報告会運営会議
 - 東遠学園組合議会
 - 小笠老人ホーム施設組合議会
- 5日～7日
 - 環境産業委員会行政視察
(新潟県佐渡市、新潟市、長岡市)
- 8日 ○東遠工業用水道企業団議会
- 18日 ○環境産業委員会協議会
 - 掛川市・菊川市衛生施設組合議会
- 20日 ○掛川市・袋井市病院企業団組合議会
- 21日 ○全員協議会
- 25日 ○東遠地区聖苑組合議会
- 26日 ○第4回中東遠総合医療センター支援特別委員会
- 27日 ○議会運営委員会
 - 議員懇談会
- 28日 ○第4回協働のまちづくり推進特別委員会



[9月]

- 3日～10/6日
 - 掛川市議会第3回(9月)定例会
- 3日 ○第3回議会報告会運営会議
- 5日 ○議会だより編集特別委員会
 - 東遠広域施設組合議会
- 10日 ○第2回議会報告会全体会議
 - 中東遠総合医療センター支援特別委員会「講演会」
- 24日 ○第4回議会報告会運営会議
- 25日 ○環境産業委員会
- 29日 ○議会だより編集特別委員会
- 30日 ○第5回協働のまちづくり推進特別委員会
 - 第5回中東遠総合医療センター支援特別委員会

[10月]

- 8日 ○第3回議会報告会全体会議
- 9日 ○議会だより編集特別委員会

11月定例会の予定

[11月]

- 27日 本会議
(議案の提案説明)

[12月]

- 10日 本会議(一般質問)
- 11日 本会議(一般質問)
- 12日 本会議(一般質問、議案質疑、委員会付託) 常任委員会
- 17日 常任委員会協議会
- 25日 本会議
(委員長報告、質疑、討論、採決)

傍聴席

毎年4回開かれている定例会での「議員と市長」とのやり取りに大いに関心があり、地元の議員が質問する時は必ず傍聴し、議員の仕事ぶりも確認させてもらっています。また私自身が興味を持つ一般質問要旨がある時は進んで傍聴に出掛ける様になっています。

都合で傍聴出来ない時は議会議中継を見ます。見られない時は録画を見ています。質疑上でかみ合わないところもあり、答弁する内容とその言葉の重みを感じます。

議案採決は多数決となり、質問者としての「しこり」が残るのは仕方ないことではない。議場での一問一答方式も定着し、聞く方としても聞きやすくなってきました。

掛川市は常に先を見て、現実を省みて、そして前へと種々市政を展開しています。それらの議案についての質疑の場面を傍聴席に座って確認してみても如何でしょうか。

「協働のまち掛川」実現への第一歩です。
神崎吾朗(下垂木)

編集後記

9月定例会が10月6日に閉会しました。開会中に、広島県においてはゲリラ豪雨による大きな土砂災害が発生し、74名の尊い命が奪われました。そして、御嶽山の噴火では死者が50名以上となる戦後最大の火山災害となりました。最終日の本会議は台風で午後延期され、自然災害の脅威を身にしみて感じました。市民の生命と財産を守るための総合的な防災対策が急務であると感じたところです。

議会だより
編集特別委員会

委員 渡邊久次



※この市議会だよりは、資源リサイクル推進のためグリーン購入法適合再生紙を利用しています。